第41回関東学童軟式野球大会･東京新聞カップ　千葉県予選大会
【マクドナルド･カップ】

平成30年　6月23日（土）・24日（日）・7月1日（日）

・青葉の森スポーツプラザ野球場
・稲毛海浜公園スポーツ施設野球場　A面　B面
・百目木公園野球場

≪**参加チーム**≫　トーナメント表順

★ナスパマリーンズ（北総）	★浦安レッドシャークス（葛南）
★谷津サザナミ（習志野）	★旭ドリームス（東総）
★常盤平ボーイズ（東葛）	★薬円台リトルスター（船橋）
★新木戸ヤングミヤコシ（八千代）	★蔵波ジャガーズ（かずさ）
★鳴浜ＢＢＣ（九十九）	★高洲コンドルズ（千葉）
★柏ドリームス（柏）	★岩井イーグルス（安房）
★菊間ツインズ（市原）	★石塚カージナルス（市原）
★塩焼ちどりウイングス（市川）	★八街マリーンズ（印旛）

≪**試合結果**≫　トーナメント表は県HP試合結果に掲示しております。

優　勝	**高洲コンドルズ**	（千葉地域）
準優勝	**常盤平ボーイズ**	（東葛地域）
第三位	**鳴浜BBC**	（九十九地域）
第三位	**薬円台リトルスター**	（船橋地域）

★　高洲コンドルズ　　主将　　西崎　桔平（ニシザキ　キッペイ）

関東学童千葉県大会では、接戦が多く思った通りに点数が入らない緊張感の中での試合でした。
この連戦の中で、チームとして今後の守備やバッティングの課題が見つかりました。　少年野球としては最後の1年なので、今後も一生懸命練習しキャプテンとして最後の一球まであきらめず、みんなを引っ張っていきたいと思います。そして本大会では、千葉県大会での苦しい戦いの体験を生かし、日々努力してきた仲間達とチーム一丸となって優勝旗を取りに行きたいと思います。

★　高洲コンドルズ　　推薦選手　　諏訪　優斗（スワ　ユウト）

僕は関東学童千葉県大会で、最後まであきらめなければ勝てる、ということを学びました。2回戦目、5回までノーヒットで1点差で負けていました。それでも僕は、まだ1点差、絶対にあきらめないぞ、と声を出し続けました。すると6回2アウトでキャプテンがセンターにタイムリーヒットを打ち、流れはこちら側に。最終回に逆転し勝つことができました。最後まであきらめずに一所懸命にプレーすれば、必ず何かが起きてくれると気づけました。
関東大会でも最後まで絶対にあきらめず、優勝目指してがんばります。

★　高洲コンドルズ　　監督　　西村　徹（ニシムラ　トオル）

66年生が8人と揃わないなか、下級生の力を借りてここまで戦ってきました。
2回戦からは先制される苦しい試合が続きましたが、何とか我慢して逆転で決勝まで勝ち上がることができました。決勝では新チーム結成の時から力を入れてきたバッティング練習の成果が出たものと思います。
関東学童軟式野球大会でも千葉県代表として優勝目指して頑張ります。

★　常盤平ボーイズ　主将　藤井　俊太郎（フジイ　シュンタロウ）

常盤平ボーイズのスローガンは、「心を一つに」です。この大会では「優勝する」という目標に向かって、チーム全員が心を一つにできたと思います。優勝するために、僕達は一戦一戦集中して戦うことを決めました。少し緊張しましたが、監督やコーチ、お母さん達の応援で全力プレーが出来ました。決勝戦では、絶対逆転するぞとチームが一つになり、追い上げていきました。「仲間とともに最後の一球まであきらめない」と選手宣誓した通りに、最後まで全員で全力プレーができました。でも負けてしまい、とても悔しかったです。この大会での経験を生かして、これからも心を一つに、勝利を目指していきたいです。

★　常盤平ボーイズ　推薦選手　高岡　珀人（タカオカ　ハクト）

僕は、上の学年では県大会を経験させていただきましたが、この学年では初めてでした。その為少し緊張しましたが、いつも通りやれば大丈夫と自分達を信じてプレーしました。自分達のベストを尽くそう、その一心でした。僕は野球が大好きなので気付けば楽しんでプレーする事が出来ました。そして決勝戦。確かに相手の高須さんは走攻守全てが凄く六点差まで離されましたが、最後まで皆諦めずに最終回に三点を取り、一打一点差の所までくる事が出来ました。結果は負けましたが勉強になりました。次はろうきん杯で必ず勝ってみせます！

★　常盤平ボーイズ　監督　相川　操（アイカワ　ミサオ）

この大会を通じて子供たちの成長を強く感じることができました。県内の名だたる名門チームに臆することなく、最後まで堂々と戦ってくれました。3月末に行われた東葛予選の決勝戦で清水タイガースさんに敗れてから、関東大会への出場という大きな目標に向かってスタッフともども努力した結果の表れと思います。決勝戦で敗れはしたものの3回勝つことができ自信になる素晴らしい大会となりました。最後に、本大会で支えていただきました関係各位に感謝を申し上げ、次の目標に向かって邁進していきたいと思います。